

W32-4263

アジレントテクノロジー

LCRメータ

4263

使用できる機種 4263B

品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-4263-R	ラトックシステム製	70,000円	Windows 7/8.1/10 (32bit or 64bit) Excel2010/13/16/19 (32bit Only)
W32-4263-N	NI製		

LCRメータ「4263B」は、米国アジレントテクノロジー社の商標です。

機能



・データロガーとしての活用

指定された時間間隔で指定された個数のデータをリアルタイムにExcelシートに取込みます。

・製品検査への活用

被測定物を取り換えながら、個々のデータをExcelシートに取込みます。

注)本ソフトは、偏差表示の設定はサポートしておりませんが、測定前に手動で偏差表示に設定しておけば、偏差データの測定は可能です。

概要

スタートすると、測定パラメータや周波数等の設定を自動的に行った後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することもできます。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。※本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excelのグラフウィザードを使用して作図してください。

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。測定するパラメータや周波数等の測定条件をすべて設定した後、「START」ボタンをクリックするとデータの取込みを開始します。

測定中は、データ表示を邪魔しないように、ウィンドウは下図のように縮小表示となります。



操作説明

測定器からデータの取込を開始します。

測定中は「赤色」、ポーズ中は「青色」、停止中は「灰色」となります。

1次パラメータ測定の有無を指定します。

1次パラメータの種類を選択します。

2次パラメータ測定の有無を指定します。

2次パラメータの種類を選択します。

測定レンジを切換えます。

測定時間を指定します。

測定電圧を設定します。

DCバイアスのON/OFFを設定します。

DCバイアスのレベルを設定します。

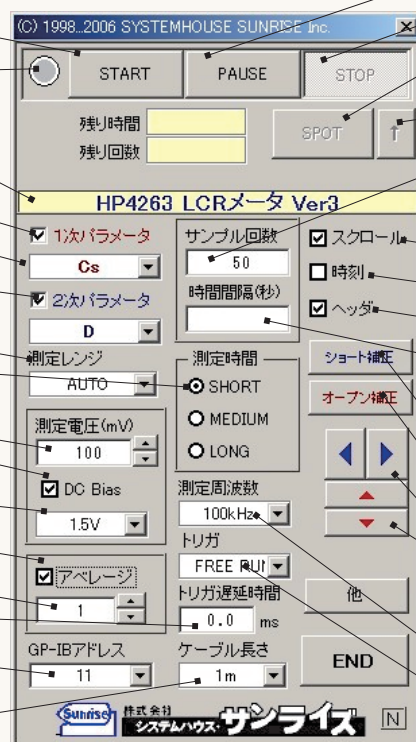
アペレージのON/OFFを設定します。

アペレージ回数を設定します。

トリガ遅延時間を設定します。

4263本体で設定したGP-IBアドレスと同じ値を設定します。

フィクスチャのケーブル長さを指定します。フィクスチャとケーブル長さの関係は、4263Bの取扱説明書の記載を参考にしてください。



データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると、取込を再開します。

データの取込を停止します。

「PAUSE」中、有効となり、クリックする毎にデータを取り込みます。「スポット測定モード」の場合の動作は下記を参照ください。

スポットモードだけ有効で、1つ前の測定値を削除します。

データを取込む回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中断できます。また、何も入力されていないときは、65000回と積 されます。入力できる最大回数は、65000回です。

データの入力と共にシートをスクロールします。

データに日付時刻を付加します。

最初のデータ取込時、測定項目名等のヘッダを付加します。

データを取込む時間間隔を秒の単位で入力します。ここで入力した時間と実際の時間間隔では若干の差異が発生します。何も入力がない場合やゼロが入力された場合は、最速でデータを取り込みます。入力できる最大時間は、3600秒です。

フィクスチャのショート補正を行います。

フィクスチャのオープン補正を行います。

Excelシート上のカーソルを左右・上下に移動しデータ取込開始位置を決定します。「START」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方向へデータを取込みます。

測定周波数を設定します。

・FREE RUN：フリーランサンプル。

・パソコンから：その都度パソコンがトリガ。

・パネルボタン：4263パネルのトリガボタンでトリガ。

・外部端子：4263のリアトリガ端子からトリガ。

1次パラメータの単位: k

2次パラメータの単位: 実測値

1次パラメータ: ☒ LOWコンパレータ (10e-12) ☒ UPRコンパレータ (30E-12)

2次パラメータ: ☐ LOWコンパレータ ☐ UPRコンパレータ

☐ コンタクトチェック

QUIT

Excelシートへ入力する時の単位を指定します。

コンパレータ機能を使用する場合の、チェックをつけます。
コンパレータ機能を使用して測定を実行すると、測定値が「上限値」以上になった時、測定値が「赤色」表示され、「下限値」以下になった時、「青色」表示されます。
オーバーロードやノーコンタクト等のエラーが発生した場合、データ入力は、空欄となります。

コンタクトチェックの有無を指定します。。

スポット測定モードの使用方法

検査等で被測定物を取り換えながら測定する場合に、このモードを使用します。「PAUSE」ボタンを先にクリックして、その後「START」ボタンをクリックすると「スポット測定モード」になります。測定器の設定が行われた後、「SPOT」ボタンのクリック待ちとなります。「SPOT」ボタンをクリックする毎にデータがExcelシートに取込まれます。この時「SPOT」ボタンをクリックする代わりに「スペース」キーを押しても同様の結果となります。但し、「サンプリング・トリガ」が「パネルボタン」または「外部端子」になっているときは、「SPOT」ボタンではなく、そのトリガ入力によりデータの取り込みが行われます。この「スポット測定モード」では、「経過時間」の欄には1,2,3...と「連続番号」が入力されます。例えば、被測定物を取り換えながら、個々の被測定物の測定を行う場合に便利です。「スポット測定モード」を終了するためには、「STOP」ボタンをクリックします。